

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

おかねに対する意識と行動を変える。投資や資産形成を通して、消費者から支援者へと人々の社会との関わり方を変えていく。

EBITDA
15億円

資産形成支援事業売上
約40%

M&A件数
5社（累計）

時価総額
100億円

② 中長期の経営戦略

1. 体験型投資学習事業強化

FXジャンル依存からの脱却。新規プロダクト開発とパイプライン拡充。FXなび収益性強化。

3. ターゲット拡大

投資未経験層（約7割）をターゲット。体験型アプリで知識習得、デモトレード等で失敗も含め学習支援。

2. 資産形成支援事業展開

新たな成長エンジンとして戦略的投資対象に位置付け、積極投資を推進。

4. ポジショニング強化

従来の座学型に対して体験型投資学習アプリというユニークなポジショニングを構築。

③ 対処すべき課題

① 認知度向上

- Web広告、マス広告、イベント出展等による広告宣伝活動。投資学習の社会的意義を周知。

② プロダクト強化

- アプリの機能やUI/UX継続的な強化・改善。ユーザーへのより良い投資学習体験提供。

③ 人材確保・組織体制

- プランナー人材、事業開発人材等の優秀人材採用。
- 従業員が中長期に活躍しやすい環境整備、企業カルチャー醸成、人事制度構築。

面接で使えるポイント

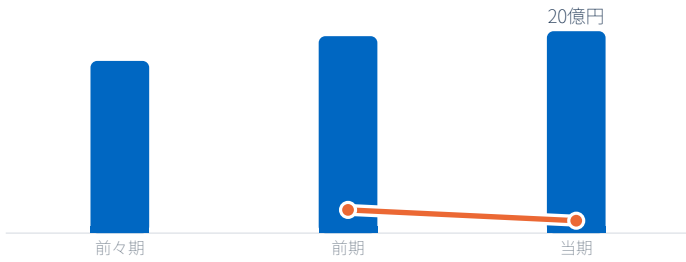
- 2024年から始まった新NISAや政府の資産所得倍増プランを追い風に、投資デビュー支援市場の成長に貢献する事業。
- 約7割の国民が投資未経験である中で、知識不足や不安を解消する体験型投資学習アプリを提供。
- 2031年6月期にEBITDA15億円、資産形成支援事業売上比率約40%、M&A累計5社を目指す成長戦略。

グリーンモンスター株式会社

サービス業 | グロース（内国株式） | 決算期 6月末日 | ...

証券コード 157A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
投資学習支援事業を主軸とする情報通信・サービス企業

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
20億円

営業利益率
6.2%

財務健康度
66点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 41.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
562万円

サービス業内 300位/524社

平均年齢
34.0歳

サービス業内 426位/527社

平均勤続
2.7年

サービス業内 481位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: グリーンモンスター(株)【157A】：決算情報

グリーンモンスター株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

